

# 明るい日田

No.1492  
2019年5月30日  
発行者  
日本共産党  
西部地区  
委員会  
日田市中城町  
6-29  
TEL24-2145

発売中  
100円

憲法9条を変えて、  
「戦争する自衛隊」にして  
いいのですか（憲法会議・発行）

## 2019市長選挙候補者への公開質問について（ご依頼）

標記の件について、以下の7項目を貴殿に質問いたします。

貴殿におかれましては公私ともにお忙しいことは存じますが、6月10日（月）までに文書をもってご回答ください。

なお、公開質問のご回答は、市民のみなさんが市長選挙の判断材料となるよう、公開させていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

1. 「こんな経済情勢で増税を強行していいのか」という危惧、批判が広がっている。10月からの消費税10%増税に対し、どのような見解を持っているか。また、今後どのような行動をとるのか。

2. 地方6団体が国民健康保険の国庫負担増額を要望し、「協会けんぽ」並みの負担率にすることを求めている。高すぎる国民健康保険税の引き下げに対し、どのような見解を持っているか。また、今後どのような行動をとるのか。

3. 学校給食の無償化をはじめ、憲法で定められている義務教育の完全無償化に対し、どのような見解を持っているか。また、今後どのような行動をとるのか。

4. 子どもの医療費助成に関し、高校生まで窓口無料にする考えはあるか。また、その他に子どもを産み育てやすい環境づくりの具体的な施策として考えていることがあるか。

5. 高い介護保険料の引き下げや、年金で入れる特別養護老人ホームの増設に対し、どのような見解を持っているか。また、今後どのような行動をとるのか。

6. 憲法9条に自衛隊の保持を明記する安倍首相・自民党の改憲案に対し、どのような見解を持っているか。また、今後どのような行動をとるのか。

7. 世界の流れは、再生可能エネルギー・脱炭素にかじを切っている。安倍政権の原発再稼働を推進し、原発にしがみつく政治に対し、どのように考えているか。また、今後どのような行動をとるのか。

以上

# 市長選挙 7月21日 立候補予定は現在3人



▶ 3人の市長選挙予定候補者の後援会リーフレットから表示面積が同じになるように掲載。

日田市長選挙は、7月14日告示、21日投票で行われます。現在、立候補予定者は3名で、現職の原田啓介氏（60）と新人の椋野美智子氏（63）、湯浅総氏（43）です。

現職市長は、3月議会のとき市長選出馬を明らかにし、施政方針を説明しました。2人の新人予定

候補の政治姿勢や具体的な政策提案は、新聞報道などで一部紹介されています。日本共産党西部地区委員会は、市民が市長を選ぶ判断材料が十分提供されていないと考え、予定候補の政治姿勢や具体的な政策を知るために、公開質問状を出すことを決めました。これは、4年前の市長選挙前にも行っており、各予定候補の回答は、そのときの「明るい日田」に掲載しました。

3人の市長選予定候補者に手渡した公開質問状の質問項目は、消費税、国民健康保険税、学校給食費、子どもを産み育てやすい環境づくり、介護保険、憲法9条改憲、原発再稼働の7項目です（左のとおり）。

日本共産党西部地区委員会は22日、3人の市長選予定候補者に政治姿勢を問う公開質問状を手渡しました。10月からの消費税増税や学校給食費の無償化など7項目について、6月10日までに回答を求めています（質問内容は左のとおり）。

日本共産党西部地区委員会は、候補の政治姿勢や具体的な政策提案は、新聞報道などで一部紹介されています。市民が市長を選ぶ判断材料が十分提供されていないと考え、予定候補の政治姿勢や具体的な政策を知るために、公開質問状を出すことを決めました。これは、4年前の市長選挙前にも行っており、各予定候補の回答は、そのときの「明るい日田」に掲載しました。